

未来に伝えたい「まいばらの水」12選

vol. 3

深い山々が育んだ米原の美しい湧き水。

このコーナーでは、「未来に伝えたい」まいばらの水“12”に選ばれた12か所をシリーズでお伝えしています。水道の蛇口をひねればあたり前のように水が出てくる現代の暮らしの中で、忘れられつつある水や水を育む森の大切さを改めて感じていただき、米原の美しい水環境を未来へ引き継いでいくきっかけとなることを願っています。

桶水小泉

伊吹山麓、小泉の棚田の上に、伊吹山の断崖の水を集めたかと思われほど滔々と湧き出る水量豊富な桶水。幻の伊吹城の用水であったとも言われていて、江戸中期以降山形藩によって水路工事も行われています。三方石畳み方式の水路は貴重な文化遺産で、歴史ある湧水です。源流は大富川不動滝、あるいは美濃からの伏流水などとも言われていますが、詳しいことはわかっていません。湧水地点は正確には小泉ではありませんが、昔から小泉地区の人々に田用水や生活用水として利用されてきました。(硬度79・6 中硬水)



▲ 桶水が潤す田畑



▲ 水量豊富な桶水



お問い合わせ 経済環境部 環境保全課 (伊吹庁舎) ☎58-2230 58-1630